

第 11 回せいい看護学会学術集会 プログラム

9 : 15～ 9 : 25	<p style="text-align: center;">— 開会のあいさつ —</p> <p>学術集会会長 森本俊子 メッセージ エクランド 源稚子 (Pediatrix Medical Group Of Tennessee 新生児ナースプラクティショナー)</p>
9 : 30～ 9 : 50	<p style="text-align: center;">— 会長講演 —</p> <p style="text-align: center;">「みんなちがって、みんないい！ ～多様な価値観に寄り添うダイバーシティマネジメント～」</p> <p>演者： 森本俊子（社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 総看護部長） 座長： 檜原理恵 （聖隷クリストファー大学 教授）</p>
10 : 00～ 11 : 00	<p style="text-align: center;">— 座談会 —</p> <p style="text-align: center;">「多様性を活かす人材育成と人材活用」</p> <p>演者：岡 俊明 （社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 院長） 鎌田 裕子（社会福祉法人 聖隷福祉事業団 法人本部 理事・常務執行役員） 津島 準子（公立森町病院 副院長兼看護部長） 座長： 鶴田恵子（聖隷クリストファー大学 教授）</p>
	<p>— 一般演題 口演 —</p> <p>【第 1 セッション】 座長 佐久間佐織（聖隷クリストファー大学）</p>
11 : 10～ 11 : 25	<p>0-1. 経鼻胃管チューブ挿入患者のミトン使用減少に向けた A 病棟の取り組み 吉田喜久江（聖隷三方原病院）</p>
11 : 25～ 11 : 40	<p>0-2. 地域支援病院における外来看護師が行う在宅療養支援の実態 岩瀬美保 （聖隷三方原病院）</p>
11 : 40～ 11 : 55	<p>0-3. B 重症心身障害児(者)施設利用者の特徴に合わせた新型コロナウイルス感染対策 元木実希 （聖隷三方原病院）</p>
11 : 55～ 12 : 10	<p>0-4. 日常生活動作（食事・排泄・整容）の自立に向けた援助 — 「看護・介護 10 か条に関する評価表」を用いた評価の効果— 西尾知佐 （浜松市リハビリテーション病院）</p>
12 : 10～ 12 : 25	<p>0-5. 在宅酸素療法を受ける高齢者のセルフマネジメントと介護予防訪問看護の実践と 課題 朝比奈結華（組合立静岡県中部看護専門学校）</p>

	<p>— 一般演題 口演 —</p> <p>【第2セッション】 座長 久保田君枝（聖隷クリストファー大学）</p>
11:10～ 11:25	<p>0-6. 認知症患者の不安軽減につなげるための課題を見出す</p> <p style="text-align: center;">— 病棟看護師が実践する認知症患者への関わりの現状より —</p> <p style="text-align: right;">那須田奏依（聖隷浜松病院）</p>
11:25～ 11:40	<p>0-7. A病棟でのデスカンファレンスが終末期ケア実践に与える影響</p> <p style="text-align: center;">— 終末期ケアの質の向上に向けて —</p> <p style="text-align: right;">島田 泉（聖隷浜松病院）</p>
11:40～ 11:55	<p>0-8. 子ども（2歳～18歳未満）をもつ婦人科がん患者への看護師の関わりに関する困難感</p> <p style="text-align: right;">永田悠生（聖隷浜松病院）</p>
11:55～ 12:10	<p>0-9. 心臓血管外科手術を受ける先天性心疾患患児の部署間における家族看護に対する連携体制構築に向けた取り組み</p> <p style="text-align: right;">三倉有加里（聖隷浜松病院）</p>
12:10～ 12:25	<p>0-10. MFICUにおける退院支援への取り組み</p> <p style="text-align: right;">吉田弥良（聖隷浜松病院）</p>
	<p>— 一般演題 誌上発表 —</p>
	<p>P-1. 整形外科患者家族の退院へのイメージについて</p> <p style="text-align: right;">川村侑子（聖隷横浜病院）</p>
	<p>P-2. 転倒リスクのある患者に危険予知活動(KYK)ラウンドを実施した効果</p> <p style="text-align: right;">勝山 恵（浜松市リハビリテーション病院）</p>
	<p>P-3. 患者と家族の在宅療養を支える“Telephone Follow Up”の課題</p> <p style="text-align: right;">小野五月（聖隷三方原病院）</p>
	<p>P-4. 看護経験を語ることで内省を促進させた取り組みについて</p> <p style="text-align: center;">— 2年目看護師が副看護師長と共に行ったりフレクションの効果 —</p> <p style="text-align: right;">高山菜摘（浜松医科大学医学部附属病院）</p>
	<p>P-5. 治療をしながら働くということ</p> <p style="text-align: center;">— 糖尿病治療を再開した社員の思考過程を SCAT 分析して —</p> <p style="text-align: right;">阪内 梓（南葛勤医協芝健診センター）</p>
	<p>P-6. 退院間もない在宅療養軽度要介護者における「非感染性疾患」の介護予防・療養生活に関する課題</p> <p style="text-align: right;">湯澤まさみ（静岡県立大学 看護学部）</p>
	<p>P-7. 肺炎に罹患した高齢者の QOL の概念分析</p> <p style="text-align: right;">松元由香（聖隷クリストファー大学）</p>
	<p>P-8. 地域がん診療連携拠点病院においてがんと診断された患者の背景と「苦痛のスクリーニング」結果の状況</p> <p style="text-align: right;">藤浪千種（聖隷クリストファー大学）</p>
12:25～ 12:30	<p>— 閉会のあいさつ —</p> <p>せいれい看護学会 理事長 藤本栄子</p>